

製品名: IL-5R α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12563**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	IL5RA
別名	IL5RA; IL5R; Interleukin-5 receptor subunit alpha; IL-5 receptor subunit alpha; IL-5R subunit alpha; IL-5R-alpha; IL-5RA; CDw125; CD125
遺伝子 ID	3568.0
SwissProt ID	Q01344
免疫原	抗血清はヒト IL5RA の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

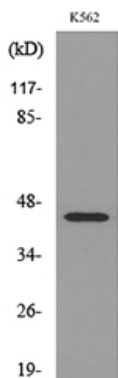
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヘテロ二量体サイトカイン受容体のインターロイキン 5 特異的サブユニットである。この受容体は、インターロイキン 3 (IL3)、コロニー刺激因子 2 (CSF2/GM-CSF)、およびインターロイキン 5 (IL5) の受容体に共通する、リガンド特異的 α サブユニットとシグナル伝達 β サブユニットから構成される。このタンパク質の IL5 への結合は β サブユニットに依存する。 β サブユニットはリガンド結合によって活性化され、IL5 の生物学的活性に必須である。このタンパク質は、IL5 を介した転写因子 SOX4 の活性化に必須であるシンデカン結合タンパク質 (シンテニン) と相互作用することが判明している。4 つの異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。 [RefSeq 提供、2011 年 7 月],ドメイン: ボックス 1 モチーフは JAK との相互作用および / または活性化に必須である。 ,ドメイン: WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要であると考えられる。 ,機能: インターロイキン-5 の受容体である。 α 鎖は IL-5 に結合する。 ,類似性: I 型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ 5 サブファミリーに属する。 ,サブユニット: α サブユニットと β サブユニットのヘテロ二量体。 β サブユニットは IL-3、IL-5、および GM-CSF 受容体に共通である。 SDCBP と相互作用する。 ,組織特異性: 好酸球および好塩基球に発現する。 ,

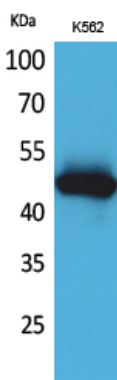
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;造血細胞系統;

画像データ



IL5RA 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。



IL-5R α ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウエスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。